

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名 1 学ぶ意欲の向上に向けた学習環境の醸成

施策主管課 生涯学習課 総合計画記載頁 106ページ

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	8 生涯にわたる学習活動を促進する	政策の達成目標 (基本施策目標)	子どもから大人まで、市民の誰もが自分に合った学習の機会や場を得られるとともに、意欲を持って地域の活動に取り組んでいます。
------	-------------------------	----------------	-------------------	---------------------	--

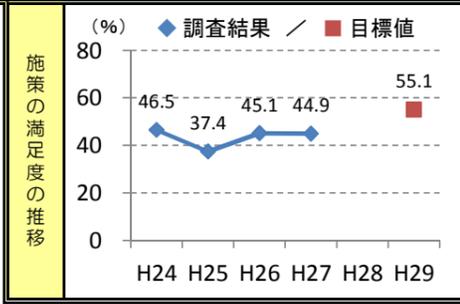
2 施策の取組状況

施策目標 一人ひとりが、自分にあった学びの機会や場を得て、いきいきと学んでいます。

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価	
	指標1	全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数	単年度目標値	23,763	23,994	24,125	24,306	24,487			24,670	B	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	46.5%	37.4%	45.1%		44.9%
	現状値	23,582人	実績値	21,747	22,098	22,372	21,190			目標値(H29)	55.1%			前年度からの増減		-9.1%	7.7%	-0.2%		
	目標値(H29)	24,670人	単年度の達成度	91.52%	92.10%	92.73%	87.2%			③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)								B		
指標2	図書館資料の貸出冊数(千点)	単年度目標値	—	4,335	4,508	4,688	4,875	5,070	B	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29		
	現状値	4,075点	実績値	4,169	4,027	3,932	3,935					中核市平均	2.19	2.03	2.02	1.99				
	目標値(H29)	5,070点	単年度の達成度		92.90%	87.22%	83.9%					実績値	2.1	2.12	1.97	2.04				
											中核市での本市の順位	20位/41市中	18位/41市中	22位/42市中	19位/43市中					
	現状値		実績値								中核市平均									
	目標値(H29)		単年度の達成度								実績値									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 逓増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



※評価の考え方

① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	<ul style="list-style-type: none"> 国の第2期教育振興基本計画において、多様化が一層進む社会の中で、個々人が自立し、他者と連携・協働しながら、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担う力を身に付ける必要があるとしている。 また、平成28年3月には同計画における現状と課題(生涯学習分科会関係)として、「社会の変化が激しく、多様化が一層進行する中において、社会を生き抜く上で必要な自立・協働・創造に向けた力を生涯を通じて身につけられるようにする」ため、現代的・社会的課題に対応した質の高い学習機会等の充実が求められている。 	市民満足度	市民の多様なニーズに応じた「個人の要望」を踏まえつつ、早急に取り組むべき課題である「社会の要請」に対応した多様な学習機会の提供などを進めており、市民満足度は昨年とほぼ横ばいとなっている。	総合評価	75点
施策指標	<ul style="list-style-type: none"> 全生涯学習センターで開催される講座の延べ参加者数については、文化・教養的な講座から、地域の課題解決や社会的課題に対応する講座を重点として展開しているところであり、実施日時の工夫などを行うことにより、参加者数は概ね横ばいとなった。 図書館資料の貸出冊数については、継続的な小中学高校生への読書推進、読書推進ガイドブックの発行など取り組んできた結果、貸出冊数の減少に歯止めをかけた。 				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・主要事業※	事業の目的	事業内容		事業の進捗状況	H27事業費(千円)	開始年度	日本一施策事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	人材かがやき支援事業		市民活動団体等の活動活性化	生涯学習にかかわる又は関心のある市民	地域教育メッセの開催	計画どおり	16	H20		地域教育メッセにおいて、出展団体や市民が活動紹介や情報交換などの交流を通して、今後の活動の活性化や機会づくりにつながる場を提供する。引き続き「うつのみや人づくりフォーラム」と一体的に開催し、より多くの市民の生涯学習支援に寄与することができるよう、事業の更なる充実を図っていく。
2	あすなろ青年教室事業交付金		市内の中学校特別支援学級等の卒業生を対象とした学習機会の充実	あすなろ青年教室実施委員会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	482	H16		青少年教育として30歳以下の中学校特別支援学級等の卒業生を対象にした「あすなろ青年教室」と、成人教育として30歳を超えるあすなろ青年教室の修了生を対象とした「ひのきクラブ」において、実生活に必要な職業、家事、余暇の活用等に関する知識、技術を習得する場の充実を図っていく。
3	人材かがやきセンター事業	★	育成事業や調査研究、学習プログラムの開発・提供の充実	全市民	各種講座の開催、関係職員等研修の実施、学習相談の実施等	計画どおり	1,377	H22		地域教育の効果的な推進を図るため、市民やボランティアなどの多くが、学び、集い、情報交換や仲間づくりができる人づくりの拠点とする「人材かがやきセンター」において、引き続き、学校・家庭・地域など活動する場所や活動レベルに合わせた育成事業を実施するほか、社会的な課題に対応する先駆的・モデル的な講座も実施する。
4	市民大学運営協議会交付金(再掲)		市民の知的好奇心を満たし、生活に潤いや生きがいを与える学習機会の充実	市民大学運営協議会	事業の経費に対する補助金の交付	計画どおり	2,014	H5		「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、引き続き高等教育機関との連携により高度で専門的な学習ニーズに応えとともに、本市の生涯学習事業で唯一の有料講座として、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える教養講座や地域の文化・歴史講座などの学習機会を提供する。
5	成人対象事業	★	市民の主体的な学習活動の支援と個人の自立に向けた学習の促進	概ね18歳以上の市民	各種教養講座、高齢者教室などの開催	計画どおり	3,252	S24		多様な市民ニーズや様々な社会情勢に対応した魅力ある講座を実施するとともに、地域の課題や魅力に気づく講座の実施や、市民が運営する講座の更なる推進に取り組んでいく。また、講座の実施にあたっては、実施日時の工夫など、地域教育を支える大人の学習機会として、より多くの市民が受講できるよう努めていく。
6	子ども情報センター事業		子どもの自主的な体験活動を促進するための情報提供	主に、市内に住む小中学生	うつのみや子ども情報センター窓口・情報誌・ホームページによる情報提供	計画どおり	70	H13		子どもの生きる力の向上に向けた、自主的な体験活動を促進するために効果的な事業であり、庁内外の情報提供側のニーズも高く、より効果的な情報提供に努め、対象者の求める情報をバランスよく提供していく。
7	視聴覚ライブラリー運営事業		学校や社会教育施設等に対して、視聴覚機材、教材等の貸出しや講座、映画会の開催を通して視聴覚に関する学習機会を提供し、視聴覚教育の振興を図ることを目的とする。	学校・社会教育団体及び市民	映画会・パソコン講座の開催 視聴覚機器の操作研修 視聴覚機材・教材・施設の貸出 団体の事業・制作支援	計画どおり	932	S56	トップクラス	視聴覚教材・機材の貸出及び施設の利用促進のため、視聴覚機材・教材及び施設の適正な管理に努めるとともに、既存事業の充実を図りながら、きめ細かな学習情報の提供と利用者ニーズの多様化、高度化に対応した事業の実施に努めていく。
8	生涯学習センター文化祭負担金		市民の文化活動を通じた交流促進	中央・東・西・南・北・上河内・河内生涯学習センター利用団体が開催する文化祭	中央・東・西・南・北・上河内・河内生涯学習センター文化祭実行委員会の負担金の交付	計画どおり	978	S42		市民の文化活動を通じた交流促進を図るため、引き続き事業を実施するとともに、一般観覧者や、幅広い年代の参加者を増やす方法について検討する。
9	図書館情報提供システムの整備		図書館サービスの円滑な提供と市民への迅速な情報提供	図書館情報提供システム利用者	図書館資料の検索や予約、貸出などの図書館コンピューターシステムの整備	計画どおり	69,856	H15		現在のコンピューターシステムを安定的に運用するとともに、トラブル時における迅速な対応を図る。今後は、図書館情報システムの更なる機能向上を行うため、システム内容の検討に取り組む。

10	市立図書館館外奉仕課貸出		地域住民への情報提供や、市民の読書活動支援	・市内に居住又は通勤通学している人 ・学校・幼稚園・保育園・地域文庫・子どもの家・老人ホームなど、図書を団体活動に活用する市内の団体	・センター図書室等の利用者への貸出 ・図書を団体活動に活用する市内の団体への貸出	計画どおり	4,446	S56		生涯学習センター図書室等の図書については、引き続きインターネット予約や資料搬送システムを活用し、利用者への迅速かつ有効な資料提供に努めるとともに、センター事業に関連する情報の提供を行う。また、特集コーナー活用による利用促進を図っていく。 ニーズに沿った団体貸出用図書を充実させ、地域の団体の利用を促進する。
11	市図書館と学校図書館のネットワークの整備		小中学生の読書活動、学習活動の支援及び教職員の教育活動の充実	児童生徒及び教職員	市内の小中学校に対し図書の巡回貸出、学校図書館司書への研修の実施	計画どおり	12,929	H18	独自性	中核市トップクラスの読書量である読書活動・学習活動を支援するため、図書館と学校図書館が連携し、児童生徒の読書活動の推進を図る。
12	図書館障がい者サービス		図書館来館に困難な市民に対する読書の機会の提供	市内に居住または通勤通学している障がい者。特に活字の変換サービスが不可欠な視覚障がい者。身体障害者、要支援・要介護認定者	・図書館に来館できない障がい者に対する、送料図書館負担による郵送貸出 ・視覚障がい者に対する、点訳・音訳図書の作成・貸出及び郵送貸出 ・点訳・音訳作業を行う奉仕員研修の実施	計画どおり	2,652	S57		音訳資料のデジタル化や情報ネットワークの活用による資料提供などの面の充実を図る必要があるため、点訳・音訳奉仕員の養成や研修を、関連機関と連携して実施する。 広報等を活用し障がい者サービスの周知を図り、また、読書ニーズを把握し、迅速かつ適切な情報提供に努める。
13	親子読書促進事業(宮っ子ふれあいブック)		家庭での読書活動のきっかけづくり	市内に居住する1歳6か月児健康診査対象者及びその保護者	1歳6か月児健康診査会場における宮っ子パック(図書館利用案内、子育て支援パンフレット等)の配付及び読み聞かせの実施	計画どおり	576	H15		地域で子どもを感性豊かに育み、家庭での読書環境を整えていくためには、地域の協力が不可欠であるため、各地域の住民から成るボランティアの確保や育成を推進するとともに、本市読書活動推進計画の終了後における事業の方向性を検討していく。
14	図書館整備事業		図書館の読書環境の整備	図書館利用者	図書館の機能保持及び安全確保のための整備	計画どおり	106,725	H13		施設設備の計画的な更新により、読書環境の整備に努める。 平成28年度は、老朽化した中央図書館空調設備改修工事を実施し、図書館利用者に快適なサービスを提供する。
15	図書館館内資料の収集提供	★	市民ニーズに対応した読書活動の推進	市内に居住又は通勤通学している人及び宇都宮市図書館の利用者	図書の収集、整理、貸出、調査・相談等の事業	計画どおり	117,983	S56		課題解決に役立つ情報拠点として、各館の特性や市民ニーズを考慮した資料の充実を図る。 職員の資質向上と専門機関との連携を進め、情報提供力の強化を図り、市民ニーズの多様化・高度化に対応していく。 中央図書館35周年、河内図書館30周年記念事業を実施するなど、市民の更なる読書活動の推進を図る。
16	図書館読書推進事業	★	講座やイベントを通じた、読書に親しむ機会の提供	市内に居住又は通勤通学している人及び宇都宮市図書館の利用者	講演会、講座、おはなし会など、図書館資料と関わりのある催しの実施	計画どおり	1,270	S56		市民の図書館に対するニーズは年々多様化しており、生涯学習の情報拠点として、様々な学習機会を提供するなど、施策目標への貢献度は高い。 今後は多様化・高度化する利用者の要求に対応できるように、高齢者を対象とした音読教室や様々な利用対象を想定した講座等の充実を図り、更なるサービスの向上に努めるとともに、全市的なイベントでの読書活動啓発事業を実施していく。
17	青少年対象事業	○	体験活動等を通じた青少年の規範意識や道徳心の醸成	市内小中学生、高校生及び市内に住んでいるか勤めている18歳から30歳までの市民	少年教室、中・高校生地域活動講座、青年教室などの講座の開催	計画どおり	845	S24		体験活動等を通じた、道徳心や規範意識等の醸成を図る講座を実施するとともに、より多くの青少年が参加できるよう、各種団体と連携した事業の実施など、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応した講座を実施する。

18	講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業	○	生涯学習の推進役となる人材の養成	生涯学習講座の企画運営に関心のある市民	Vスタッフの養成	計画どおり	107	H13	市民目線による講座の企画・運営を通じた生涯学習を推進するため、引き続きVスタッフの養成を行うとともに、講座修了後も継続した育成支援に取り組むため、フォローアップ研修会の開催や、生涯学習センターにおける活動機会の拡充を図るなど、Vスタッフの円滑な活動に向けた支援に取り組む。
19	成人式の開催	○	新成人に対する「地域社会の一員としての自覚」や「地域の育てられたことへの感謝の気持ち」の醸成	新成人	成人式の開催	計画どおり	662	H13	新成人に対する成人教育のひとつとして、地域住民で構成する実施委員会において新成人と地域が連携を図り、円滑な成人式の運営ができるよう、安定的な運営のための会場確保などについて検討を行う。
20	成人式実施委員会交付金	○	新成人に対する「地域社会の一員としての自覚」や「地域の育てられたことへの感謝の気持ち」の醸成	各成人式実施委員会	各実施委員会に対する交付金の交付	計画どおり	18,653	S23	新成人に対する成人教育のひとつとして、地域住民で構成する実施委員会による成人式の運営を引き続き実施するとともに、地域性を活かした新たな事業の実施や、より多くの新成人が企画運営に参画できる仕組みづくり、今後の成人式のあり方などについて検討する。
21	人づくり推進事業	○★	人間力の高い、心豊かでたくましい宮っこを育成するため、家庭や地域、学校、企業、行政が連携協力し、社会総ぐるみによる人づくりの推進をし、「宮っこ未来ビジョン」の実現を図る。	全市民	①人づくりフォーラムの開催 ②宮っこだよりの発行 ③人づくり『合言葉』の周知啓発	計画どおり	3,925	H18	社会総ぐるみによる人づくりの機運を醸成するため、人づくり周知・啓発チラシの配布や、HP、広報うつのみや、宮っこだより等の広報媒体を活用し、合言葉のより一層の普及・定着を図るとともに、人づくりの活動の中心である大人に対し、子どもの手本となる行動の実践を促すため大人の模範的な行動目標の作成の検討を行う。また、「うつのみや人づくりフォーラム」の開催や活動主体間の連携強化を意識した取組により、大人一人ひとりの人づくりへの参加意欲を高め、家庭や地域、学校、企業、行政が一体となった人づくりを推進していく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆青少年を対象とした講座については、青少年の道徳心や規範意識等の向上を図るため、体験活動などの学習機会の提供が必要である。</p> <p>◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、市民目線による講座の企画・運営を実施するため、養成講座修了後も育成支援に取り組む必要がある。</p> <p>◆成人式の実施については、新成人に対する「地域社会の一員としての自覚」や「地域に育てられたことへの感謝の気持ち」の醸成をはかるために、新成人に対する成人教育のひとつとして取り組んでいく必要がある。</p> <p>◆人づくり推進事業については、家庭や地域、学校、企業、行政が連携協力し、人間力の高い、心豊かでたくましい宮っこを育成するため、社会総ぐるみでの人づくりの機運を醸成する必要がある。</p>
方向性	<p><施策全般> ◆平成25年3月に策定した第2次宇都宮市地域教育推進計画に基づき、市民一人ひとりが自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、「人づくり」「絆づくり」「地域づくり」に繋がる、地域教育を推進する上で先導性の高い事業を優先的に行っていく。</p> <p><主要事業> ◆青少年を対象とした講座については、より多くの青少年が参加できるような講座内容の工夫や各種団体との連携、多様化する青少年のライフスタイルや学習ニーズに対応した講座を引き続き進めていく。 ◆講座企画・運営ボランティアスタッフ(Vスタッフ)養成事業については、修了者に対するフォローアップ研修会や生涯学習センターにおける活動機会の拡充など、円滑な活動に向けた支援を進めていく。 ◆成人式の実施については、より地域性を活かした事業の実施や、多くの新成人が企画運営に参画できる仕組みづくり、安定的な運営のための会場確保などの検討を進めていく。 ◆人づくり推進事業については、社会総ぐるみによる人づくりの「合言葉」のより一層の普及・定着や、大人の模範的な行動目標の作成の検討、また「うつのみや人づくりフォーラム」の開催など、活動主体間の連携強化を意識した取組を進めていく。</p> <p><その他個別事業></p>